

室蘭工業大学
「平成24年度 企業アンケート」
集計結果報告書

平成24年12月

目次

1. 調査の概要.....	4
2. 調査結果の要約.....	5
3. 調査集計結果.....	7
I-1. 卒業生採用企業等の人材ニーズや期待への対応度	7
I-2. 卒業者の能力や意識の水準についての認識	8
I-3. 本学の就職支援活動についての印象.....	9
I-4. 今後の本学卒業者に対する求人・採用意欲.....	10
I-5. 本学卒業者の採用理由	11
I-6. 本学卒業者の採用状況	12
I-7. 本学卒業者の職種.....	13
II-1. 本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想	14
(参考:他大学比較) 本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想.....	16
II-2. 本学の学生への教育活動についての感想.....	17
II-3. 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点(自由回答)	18
II-4. 本学全般についてのご意見、ご要望(自由回答).....	22

1. 調査の概要

- ①実施時期：平成24年7月～8月
- ②対象：室蘭工業大学 卒業生採用企業より抽出した496社
- ③方式：郵送依頼・郵送回収方式
- ④回答・回収状況：181社（回収率：36.5%）
- ⑤集計・分析にあたっての回答企業の処理：

本調査では回答企業の評価を学科別に分析することを目的に、1企業で例えば「建設システム工学科」と「機械システム工学科」について雇用実績があれば2社という扱いにし、「建設システム工学科」と「機械システム工学科」卒業生の印象などに反映させる方式をとっている。

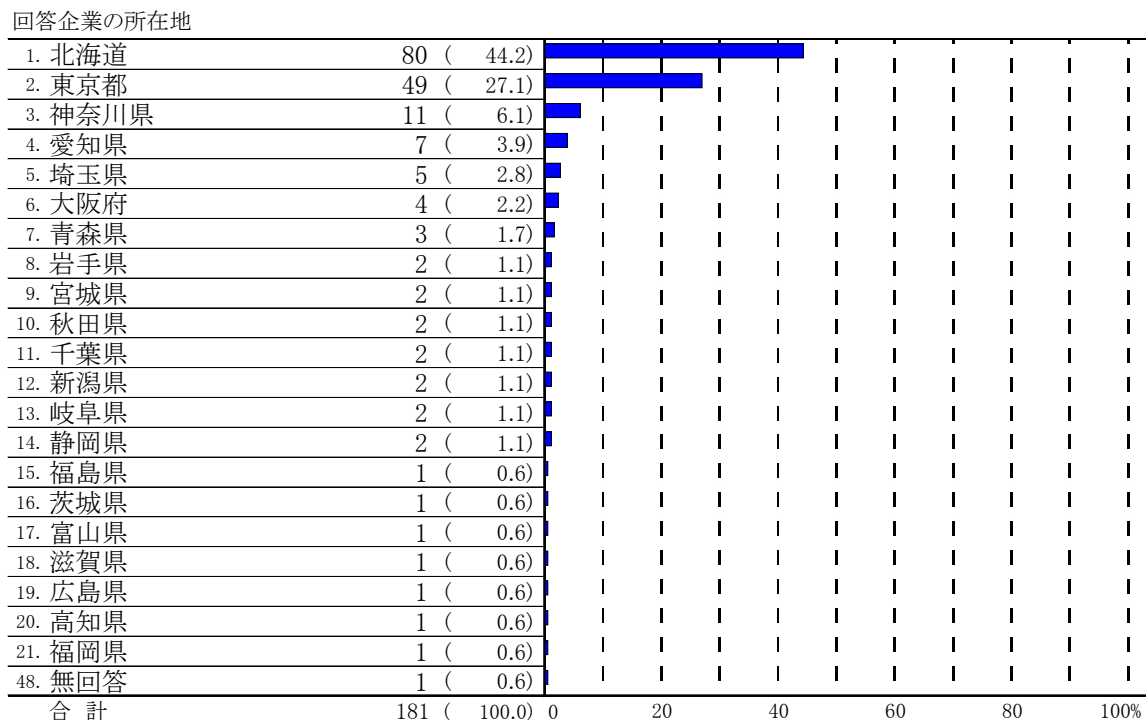
したがって、分析・報告にあたっては下図表の母数327社で各種クロス集計などを行っている。

I-6. 過去10年間に、貴社に雇用されている本学卒業者の人数

①学科卒業生

	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上	無回答
①学科卒業生 全体[327]	41.9	22.6	11.6	10.1	13.8	—
建設システム工学科[44]	54.5	11.4	13.6	4.5	15.9	—
機械システム工学科[56]	48.2	21.4	8.9	10.7	10.7	—
情報工学科[43]	41.9	23.3	11.6	7.0	16.3	—
電気電子工学科[62]	30.6	32.3	11.3	11.3	14.5	—
材料物性工学科[43]	41.9	20.9	9.3	18.6	9.3	—
応用化学科[43]	51.2	20.9	9.3	9.3	9.3	—
改組前の旧学科[36]	25.0	25.0	19.4	8.3	22.2	—

⑥回答企業の県別分布



2. 調査結果の要約

- 回答企業の所在地を都道府県別でみると、北海道(44.2%:80社)が圧倒的に多く、次いで東京都(27.1%:49社)、神奈川県(6.1%:11社)、愛知県(3.9%:7社)となっている。他、府県は5社以下である。(回答企業住所より)
- 卒業者が企業等の人材ニーズや期待に「十分応えている」47.1%、「どちらかといえば応えている」45.6%を加えた肯定回答合計は全体として92.7%となっている。(問I-1)
- 卒業者の能力や意識の水準について、「全体として高いと感じる」「どちらかといえば高いと感じる」との肯定回答は85.6%。前回比較でみると、「全体として高いと感じる」割合が微減、「どちらかといえば高いと感じる」割合が増加している。(問I-2)
- 本学の就職支援活動について、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」との肯定回答は60.2%。<これまでの調査との比較>でみると肯定割合が減少している。(問I-3)
- 本学卒業者について「今後も積極的に求人・採用していきたい」と回答した企業等は63.0%。(問I-4)
- 本学卒業者の採用理由については、「過去の卒業生の実績が認められるから」の割合が58.4%で最も高く、次いで「国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから」54.1%となっている。(問I-5)
- 本学学科卒業者を雇用している企業について、<これまでの調査との比較>でみると、平成24年度は1~4人を雇用している企業の割合が高くなっている。(問I-6)
- 学科卒業者の職種に関して、平成24年度調査で技術職が84.1%、次いで総合職が19.9%、営業職が15.0%となっている。<これまでの調査との比較>でみると、技術職、研究職がそれぞれ7.0%減少している。(問I-7①)
- 大学院修士課程修了者の職種については、平成24年度調査で技術職が85.9%、総合職が24.2%、研究職が14.1%となっている。<これまでの調査との比較>でみると、過去3回の調査では30%前後であった研究職が大幅に減少していることが顕著である。(問I-7②)

- 本学学科卒業者の意識や身につけている能力についての感想で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的意見の割合が高い項目は、「仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持った卒業者が多い」(90.7%)、「社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる卒業者が多い」(86.2%)、「基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけている卒業者が多い」(84.3%)などが挙げられる。他大学と比較しても企業の肯定割合は高いものがある。一方、印象度の低いものには、「国際的なコミュニケーション能力(語学力等)を持った卒業者が多い」(7.6%)、「国際感覚を身につけた卒業者が多い」(8.0%)などがある。(問Ⅱ-1)

- 本学の学生への教育活動についての感想で、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の肯定的意見は74.6%。
 <これまでの調査との比較>でみると、「どちらかといえば熱心だと感じる」割合は過去調査とほぼ同程度となっているが、積極的な肯定意見である「全体として熱心だと感じる」割合が、平成21年度(38.9%)と比べて11.1%減少しており、「なんともいえない、わからない」という回答割合が増加している。(問Ⅱ-2)

- 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点(自由回答)については、本学の教育面での感想や要望が数多く寄せられた。(問Ⅱ-3)

- 本学全般についてのご意見、ご要望(自由回答)については、意見・要望よりも卒業者の活躍や今後の人材輩出に対しての期待などが多くを占めており、本学と回答企業との深い関係性や信頼感が感じられた。一方、本学のみに対してではないが、企業が求めているコミュニケーション能力向上やストレス耐性強化への希望記述が複数あった。(問Ⅱ-4)

3. 調査集計結果

I-1. 卒業生採用企業等の人材ニーズや期待への対応度

卒業生が企業等の人材ニーズや期待に込えていると思うかとの設問である。「十分込えている」47.1%、「どちらかといえ込えている」45.6%を込えた肯定回答合計は全体として 92.7%となっている。母数が少ないので分析は難しいところだが、学科別の差異も認識される。

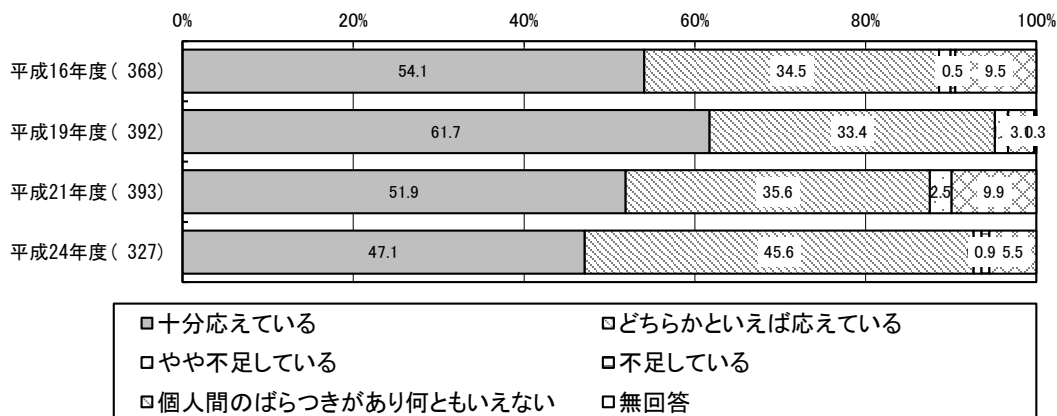
<これまでの調査との比較>でみると、積極的な選択肢である「十分込えている」が若干減少、「どちらかといえ込えている」が増加している。

I-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に込えていると思われませんか

	十分込えている	どちらかといえ込えている	やや不足している	不足している	個人間のばらつきがあり何ともいえない	無回答	肯定的意見
①学科卒業生 全体[327]	47.1	45.6	0.9	0.9	5.5	—	92.7
建設システム工学科[44]	50.0	47.7	—	2.3	—	—	97.7
機械システム工学科[56]	46.4	44.6	—	1.8	7.1	—	91.1
情報工学科[43]	37.2	51.2	2.3	—	9.3	—	88.4
電気電子工学科[62]	58.1	35.5	1.6	1.6	3.2	—	93.5
材料物性工学科[43]	44.2	48.8	2.3	—	4.7	—	93.0
応用化学科[43]	41.9	51.2	—	—	7.0	—	93.0
改組前の旧学科[36]	47.2	44.4	—	—	8.3	—	91.7

<これまでの調査との比較>

I-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に込えていると思われませんか<0403>



I-2. 卒業者の能力や意識の水準についての認識

卒業者の能力や意識の水準について、「全体として高いと感じる」「どちらかといえば高いと感じる」との肯定回答は 85.6%。

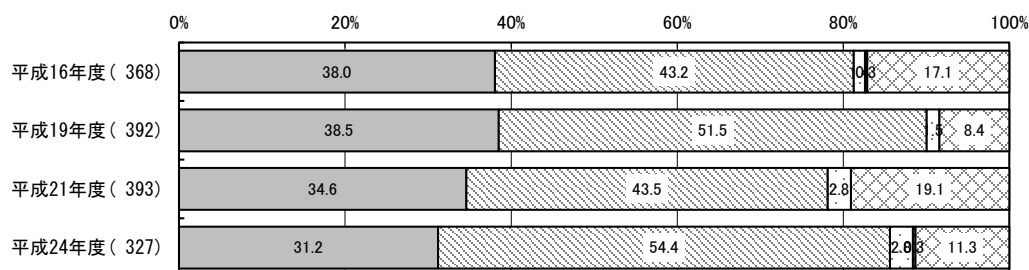
<これまでの調査との比較>の前回比較でみると、「全体として高いと感じる」割合が微減、「どちらかといえば高いと感じる」割合が増加している。

I-2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか

	全体として高いと感じる	どちらかといえば高いと感じる	どちらかというやや低いと感じる	低いと感じる	個人間のばらつきがあり何ともいえない	無回答	肯定的意見
①学科卒業者 全体[327]	31.2	54.4	2.8	0.3	11.3	—	85.6
建設システム工学科[44]	27.3	59.1	2.3	—	11.4	—	86.4
機械システム工学科[56]	26.8	57.1	7.1	—	8.9	—	83.9
情報工学科[43]	37.2	51.2	2.3	—	9.3	—	88.4
電気電子工学科[62]	32.3	59.7	—	1.6	6.5	—	91.9
材料物性工学科[43]	37.2	51.2	4.7	—	7.0	—	88.4
応用化学科[43]	34.9	44.2	2.3	—	18.6	—	79.1
改組前の旧学科[36]	22.2	55.6	—	—	22.2	—	77.8

<これまでの調査との比較>

I-2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか<0405>



- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 全体として高いと感じる | <input type="checkbox"/> どちらかといえば高いと感じる |
| <input type="checkbox"/> どちらかというやや低いと感じる | <input type="checkbox"/> 低いと感じる |
| <input type="checkbox"/> 個人間のばらつきがあり何ともいえない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

I-3. 本学の就職支援活動についての印象

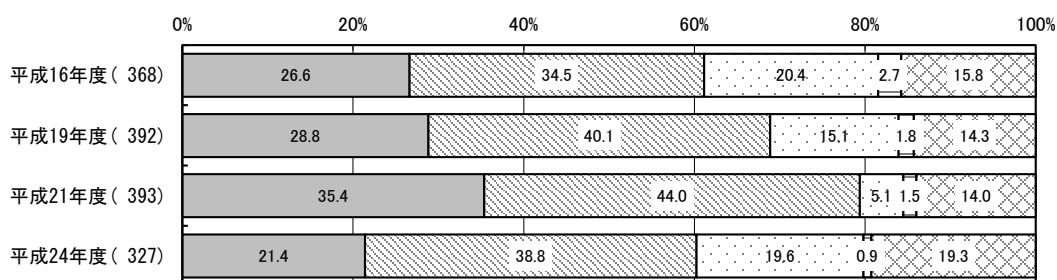
本学の就職支援活動について、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」との肯定回答は60.2%。

<これまでの調査との比較>でみると肯定割合が減少している。

I-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じておられますか

	全体として熱心だと感じる	どちらかといえば熱心だと感じる	あまり熱心だとは感じない	熱心であると感じる	何ともいえない、わからない	無回答	肯定的意見
①学科卒業生 全体[327]	21.4	38.8	19.6	0.9	19.3	—	60.2
建設システム工学科[44]	13.6	36.4	25.0	—	25.0	—	50.0
機械システム工学科[56]	23.2	33.9	17.9	1.8	23.2	—	57.1
情報工学科[43]	20.9	41.9	18.6	—	18.6	—	62.8
電気電子工学科[62]	25.8	41.9	19.4	1.6	11.3	—	67.7
材料物性工学科[43]	25.6	34.9	18.6	2.3	18.6	—	60.5
応用化学科[43]	20.9	39.5	18.6	—	20.9	—	60.5
改組前の旧学科[36]	16.7	44.4	19.4	—	19.4	—	61.1

I-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じておられますか



- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 全体として熱心だと感じる | <input type="checkbox"/> どちらかといえば熱心だと感じる |
| <input type="checkbox"/> あまり熱心だとは感じない | <input type="checkbox"/> 熱心であると感じる |
| <input type="checkbox"/> 何ともいえない、わからない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

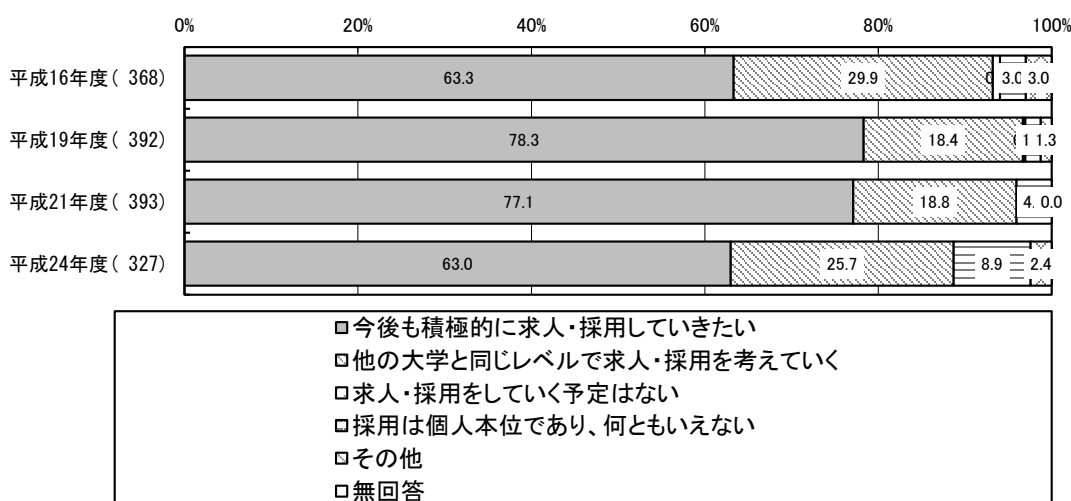
I-4. 今後の本学卒業者に対する求人・採用意欲

本学卒業者について「今後も積極的に求人・採用していきたい」と回答した企業等は63.0%。
 <これまでの調査との比較>でみると平成16年度と同等の水準になっている。

I-4. 今後の本学の卒業者についての求人・採用に関してどうお考えですか

	今後も積極的に求人・採用していきたい	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	求人・採用をしていく予定はない	採用は個人本位であり、何ともいえない	その他	無回答
①学科卒業者 全体[327]	63.0	25.7	—	8.9	2.4	—
建設システム工学科[44]	63.6	22.7	—	9.1	4.5	—
機械システム工学科[56]	60.7	25.0	—	12.5	1.8	—
情報工学科[43]	67.4	30.2	—	2.3	—	—
電気電子工学科[62]	67.7	25.8	—	4.8	1.6	—
材料物性工学科[43]	60.5	25.6	—	9.3	4.7	—
応用化学科[43]	53.5	32.6	—	11.6	2.3	—
改組前の旧学科[36]	66.7	16.7	—	13.9	2.8	—

I-4. 今後の本学の卒業者についての求人・採用に関してどうお考えですか<0404>



I-5. 本学卒業者の採用理由

本学卒業者の採用理由については、「過去の卒業生の実績が認められるから」の割合が58.4%で最も高く、次いで「国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから」54.1%となっている。

〈これまでの調査との比較〉でみると「コミュニケーション力や人間的に魅力を感じる点が多いから」以外の項目については減少傾向になった。

I-5. これまで本学の卒業者を採用いただいた理由は何ですか（複数回答）

	教員からの紹介・推薦	過去の卒業生の実績が認められるから	国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから	専門分野が当社に合致しているから	基礎学力があり、伸びる人材である点	コミュニケーション力や人間的に魅力を感じる点が多いから	退職者が少ないなど当社の風土に合致する人材が多いと感じるから	その他	無回答
①学科卒業者 全体[327]	45.6	58.4	54.1	37.9	40.7	24.5	9.8	2.1	1.8
建設システム工学科[44]	43.2	61.4	43.2	50.0	34.1	29.5	9.1	2.3	2.3
機械システム工学科[56]	42.9	62.5	55.4	37.5	35.7	30.4	7.1	3.6	—
情報工学科[43]	53.5	53.5	53.5	41.9	55.8	20.9	11.6	—	4.7
電気電子工学科[62]	50.0	58.1	59.7	38.7	38.7	21.0	6.5	1.6	1.6
材料物性工学科[43]	44.2	55.8	48.8	34.9	34.9	18.6	9.3	4.7	2.3
応用化学科[43]	41.9	53.5	58.1	23.3	41.9	16.3	14.0	2.3	2.3
改組前の旧学科[36]	41.7	63.9	58.3	38.9	47.2	36.1	13.9	—	—

〈これまでの調査との比較〉

	教員からの紹介・推薦	過去の卒業生の実績が認められるから	国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから	専門分野が当社に合致しているから	基礎学力があり、伸びる人材である点	コミュニケーション力や人間的に魅力を感じる点が多いから	退職者が少ないなど当社の風土に合致する人材が多いと感じるから	その他	無回答
平成16年度(368)	62.0	60.9	53.0	37.8	37.5	13.0	8.4	3.0	1.1
平成19年度(392)	61.7	65.6	62.2	44.6	52.0	26.0	14.3	3.1	0.8
平成21年度(393)	64.6	69.2	56.2	48.1	48.3	20.4	16.5	6.1	—
平成24年度(327)	45.6	58.4	54.1	37.9	40.7	24.5	9.8	2.1	1.8

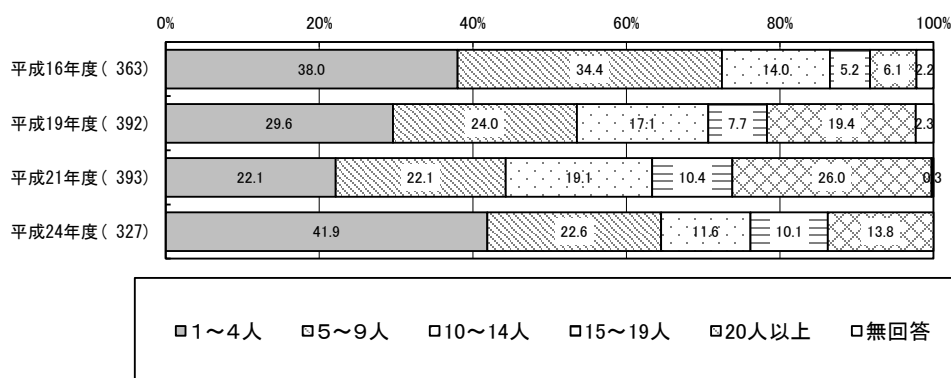
I-6. 本学卒業生の採用状況

本学学科卒業生を雇用している企業について、〈これまでの調査との比較〉でみると、平成24年度は1～4人を雇用している企業の割合が高くなっている。20人以上を雇用している企業の割合は平成21年度が26.0%だったのに対し、平成24年度は13.8%となっている。

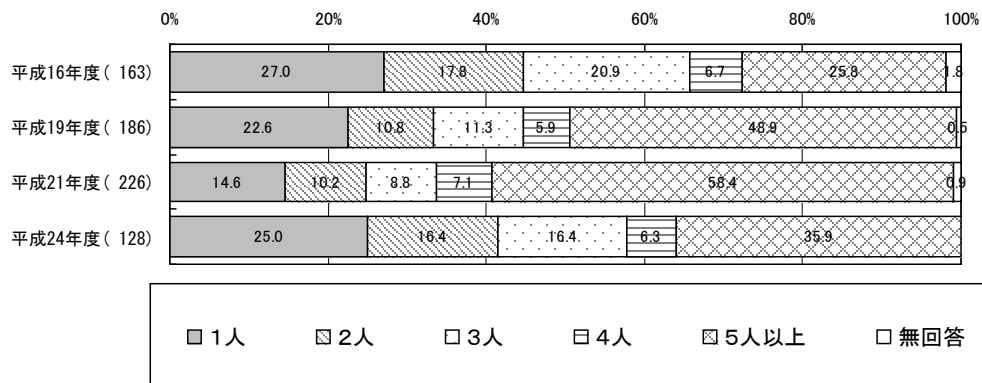
大学院修士課程修了者の各雇用企業における人数については1人～3人雇用している企業の割合が前回調査と比較して増加している。

〈これまでの調査との比較〉

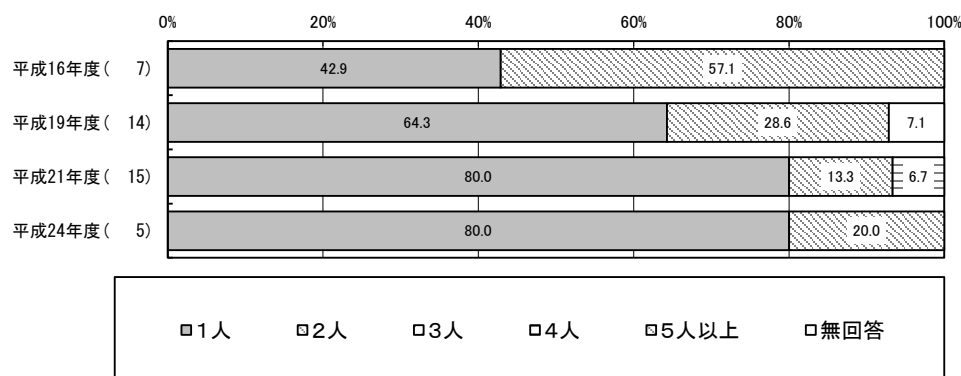
I-6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業生の人数 ①学部卒業生



I-6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業生の人数 ②大学院修士課程修了者



I-6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業生の人数 ③大学院博士課程修了者



I-7. 本学卒業者の職種

学科卒業者に関しては、平成24年度調査で技術職が84.1%、次いで総合職が19.9%、営業職が15.0%となっている。

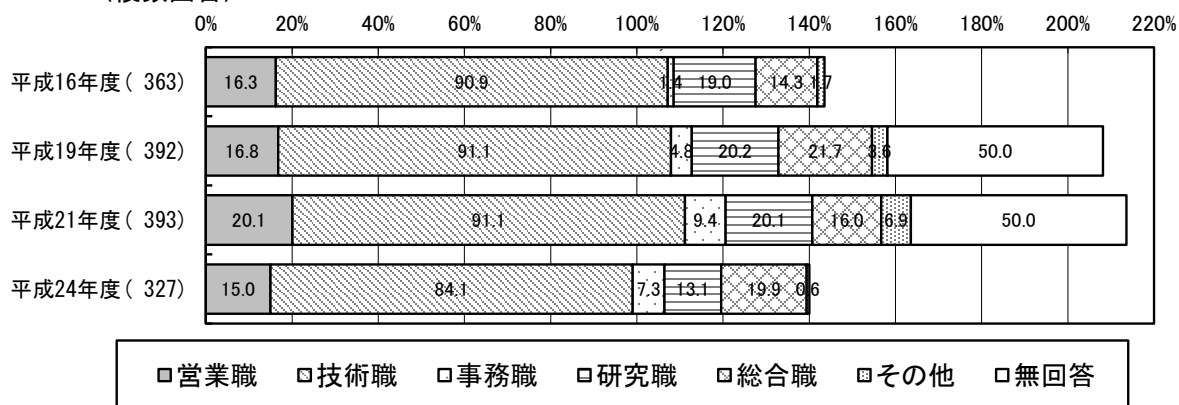
<これまでの調査との比較>でみると、技術職、研究職がそれぞれ7.0%減少している。

大学院修士課程修了者については、平成24年度調査で技術職が85.9%、総合職が24.2%、研究職が14.1%となっている。

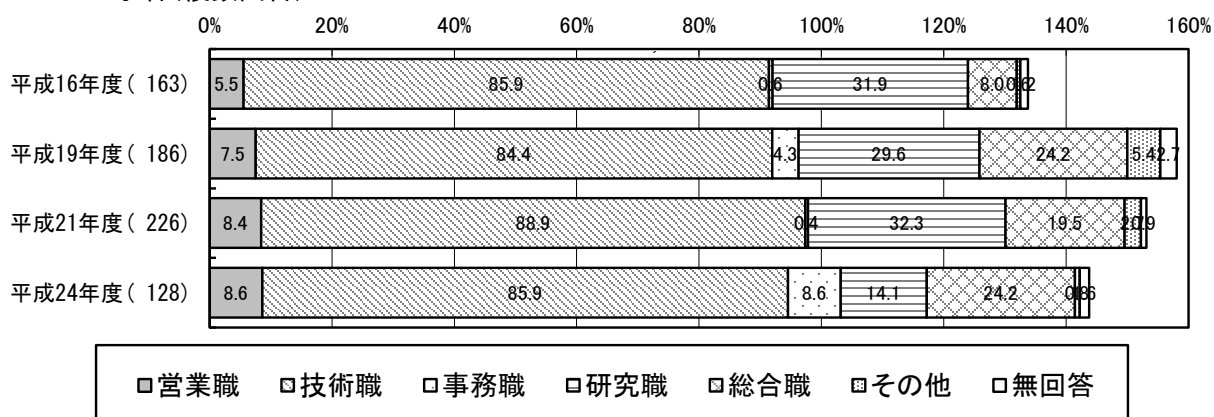
<これまでの調査との比較>でみると、過去3回の調査では30%前後であった研究職が大幅に減少していることが顕著である。

<これまでの調査との比較>

I-7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか ①学部卒業者 (複数回答)



I-7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか ②修士課程修了者 (複数回答)



II-1. 本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想

学科卒業生全体で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的意見の割合が高い項目は、「仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持った卒業生が多い」(90.7%)、「社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる卒業生が多い」(86.2%)、「基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけている卒業生が多い」(84.3%)などが挙げられる。

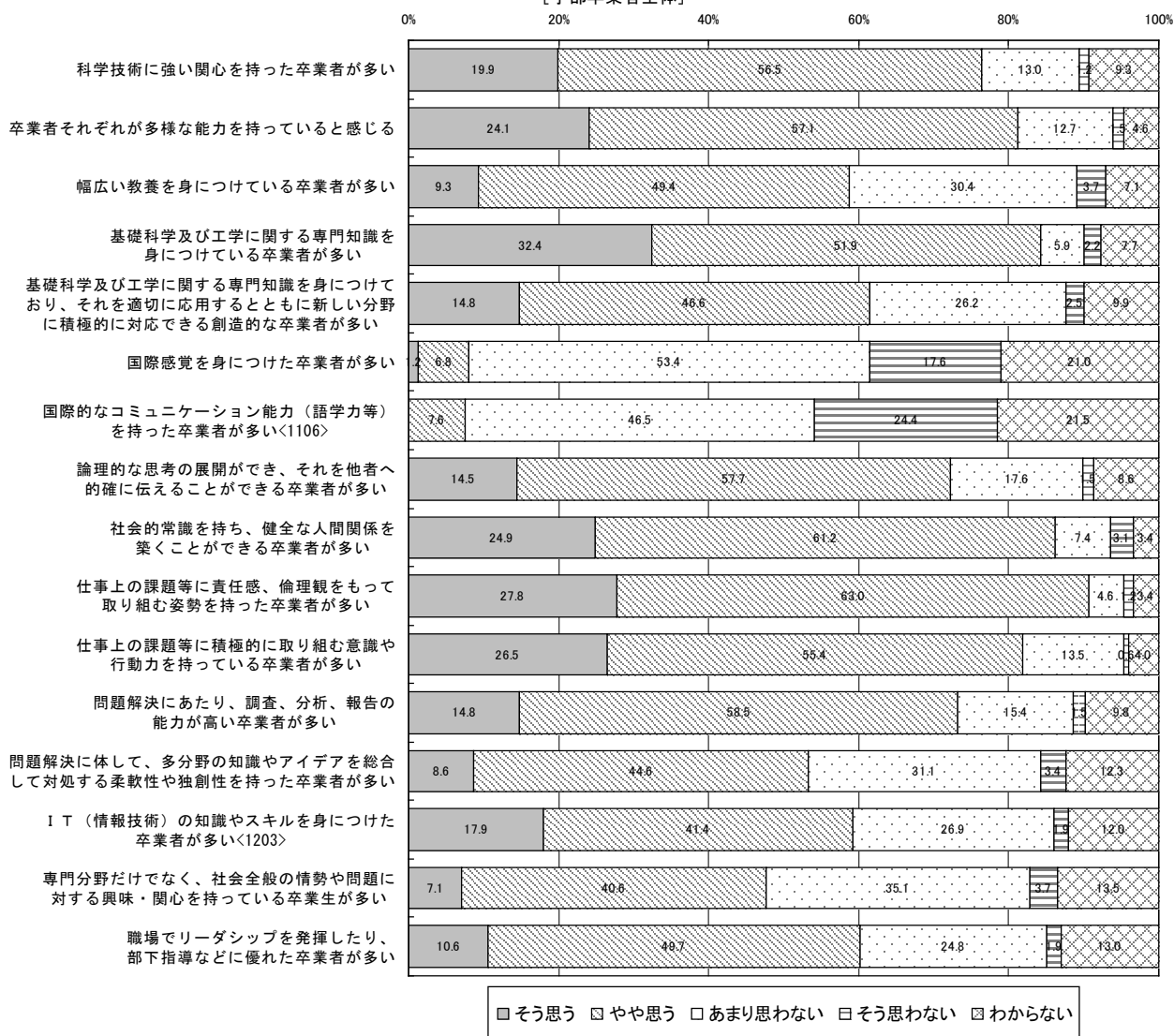
一方、印象度の低いものには、「国際的なコミュニケーション能力(語学力等)を持った卒業生が多い」(7.6%)、「国際感覚を身につけた卒業生が多い」(8.0%)などがある。

本調査は平成16年度以降3年ごとに実施しており今回で4回目であるが、次ページの結果にみるように、全体としての肯定割合は前回調査までと比較して低下傾向にある。

企業のニーズ・要望の厳しさが高まっているとも言えよう。

尚、今回は本学と他大学に対する企業からの印象比較を後(P.16)に掲載している。単科大学であり企業ニーズと卒業生の資質の合致が他の大学より進みやすい点もあるとは思いますが、総じて他大学比較においては本学の企業からの印象度は高いということも記載しておきたい。

II-1. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想
[学部卒業生全体]

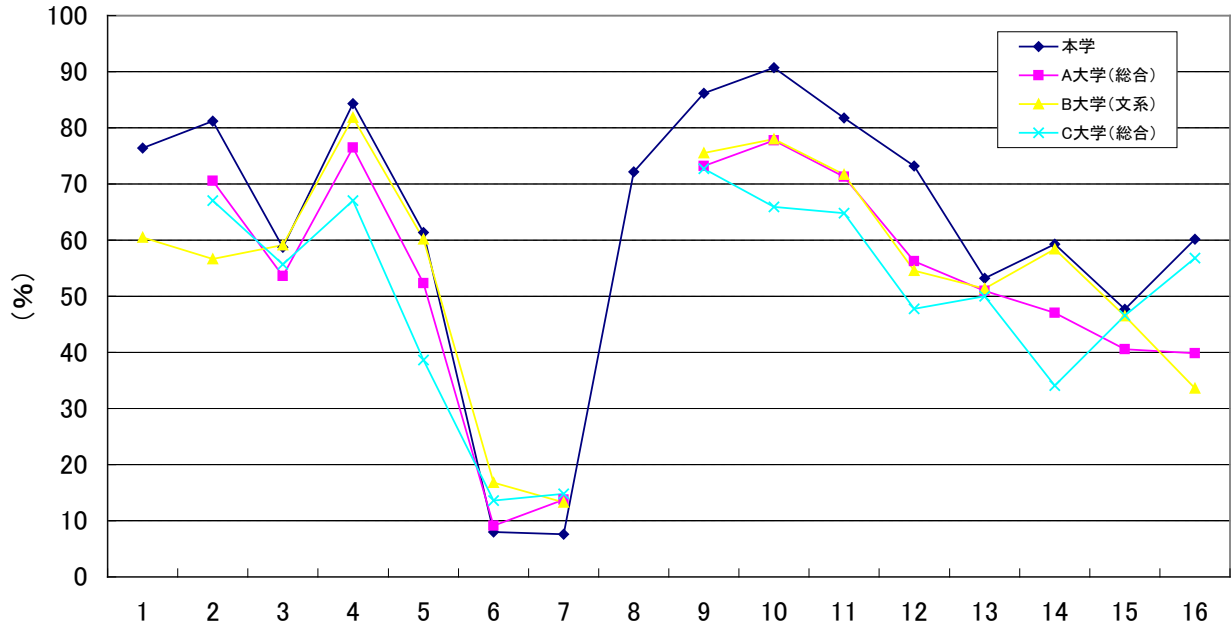


II-1. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想

①学科卒業者 全体		そう思う	やや思う	あまり思 わない	そう思わ ない	わからな い	肯定的 意見
科学技術に強い関心を持った卒業者が多い	平成16年度(363)	33.1	51.0	9.1	1.4	5.5	84.0
	平成19年度(386)	29.0	54.1	11.4	1.0	4.4	83.2
	平成21年度(383)	24.0	59.0	7.3	1.3	8.4	83.0
	平成24年度(322)	19.9	56.5	13.0	1.2	9.3	76.4
卒業生それぞれが多様な能力を持っていると感じる	平成16年度(364)	25.0	54.9	15.9	1.6	2.5	79.9
	平成19年度(385)	28.3	59.5	9.1	0.3	2.9	87.8
	平成21年度(387)	24.5	62.5	9.0	—	3.9	87.1
	平成24年度(324)	24.1	57.1	12.7	1.5	4.6	81.2
幅広い教養を身につけている卒業者が多い	平成16年度(364)	9.1	52.5	29.9	3.0	5.5	61.5
	平成19年度(384)	14.3	52.6	28.1	0.5	4.4	66.9
	平成21年度(384)	9.4	59.1	22.4	2.1	7.0	68.5
	平成24年度(322)	9.3	49.4	30.4	3.7	7.1	58.7
基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけている卒業者が多い	平成16年度(358)	34.6	54.7	7.3	0.8	2.5	89.4
	平成19年度(385)	37.4	53.2	6.5	0.5	2.3	90.6
	平成21年度(384)	34.4	58.1	3.9	—	3.6	92.4
	平成24年度(324)	32.4	51.9	5.9	2.2	7.7	84.3
基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけており、それを適切に応用するとともに新しい分野に積極的に対応できる創造的な卒業者が多い	平成16年度(361)	18.3	52.9	18.8	3.3	6.6	71.2
	平成19年度(386)	17.1	58.3	18.7	1.6	4.4	75.4
	平成21年度(383)	13.8	61.4	11.5	0.5	12.8	75.2
	平成24年度(324)	14.8	46.6	26.2	2.5	9.9	61.4
国際感覚を身につけた卒業者が多い	平成16年度(363)	—	12.1	51.2	15.4	21.2	12.1
	平成19年度(382)	0.8	12.6	61.3	12.6	12.8	13.4
	平成21年度(387)	0.8	10.3	50.4	21.4	17.1	11.1
	平成24年度(324)	1.2	6.8	53.4	17.6	21.0	8.0
国際的なコミュニケーション能力(語学力等)を持った卒業者が多い<1106>	平成16年度(361)	—	11.9	49.0	20.8	18.3	11.9
	平成19年度(386)	0.5	13.7	49.2	25.4	11.1	14.2
	平成21年度(387)	0.5	9.0	54.8	24.8	10.9	9.6
	平成24年度(316)	—	7.6	46.5	24.4	21.5	7.6
論理的な思考の展開ができ、それを他者への確に伝えることができる卒業者が多い	平成16年度(363)	18.5	54.8	20.7	1.4	4.7	73.3
	平成19年度(386)	16.1	62.4	15.0	1.3	5.2	78.5
	平成21年度(387)	12.4	65.1	16.8	0.3	5.4	77.5
	平成24年度(324)	14.5	57.7	17.6	1.5	8.6	72.2
社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる卒業者が多い	平成16年度(364)	22.0	63.2	10.4	0.3	4.1	85.2
	平成19年度(386)	33.4	56.0	8.0	0.3	2.3	89.4
	平成21年度(387)	25.3	64.3	5.2	0.5	4.7	89.7
	平成24年度(325)	24.9	61.2	7.4	3.1	3.4	86.2
仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持った卒業者が多い	平成16年度(363)	35.0	59.0	3.6	0.3	2.2	93.9
	平成19年度(384)	43.0	49.7	4.2	0.8	2.3	92.7
	平成21年度(387)	38.8	54.5	1.6	—	5.2	93.3
	平成24年度(324)	27.8	63.0	4.6	1.2	3.4	90.7
仕事上の課題等に積極的に取り組む意識や行動力を持っている卒業者が多い	平成16年度(363)	33.3	54.5	8.3	0.6	3.3	87.9
	平成19年度(386)	37.8	52.6	6.7	0.3	2.6	90.4
	平成21年度(386)	33.7	55.7	3.9	0.5	6.2	89.4
	平成24年度(325)	26.5	55.4	13.5	0.6	4.0	81.8
問題解決にあたり、調査、分析、報告の能力が高い卒業者が多い	平成16年度(364)	20.9	55.5	18.7	0.3	4.7	76.4
	平成19年度(386)	22.0	66.6	8.0	0.3	3.1	88.6
	平成21年度(387)	20.7	60.5	10.6	0.3	8.0	81.1
	平成24年度(325)	14.8	58.5	15.4	1.5	9.8	73.2
問題解決に体して、多分野の知識やアイデアを総合して対処する柔軟性や独創性を持った卒業者が多い	平成16年度(363)	16.3	48.8	25.3	1.9	7.7	65.0
	平成19年度(386)	17.6	51.6	24.9	0.3	5.7	69.2
	平成21年度(387)	12.1	56.1	16.8	2.3	12.7	68.2
	平成24年度(325)	8.6	44.6	31.1	3.4	12.3	53.2
I T (情報技術) の知識やスキルを身につけた卒業者が多い<1203>	平成16年度(361)	15.5	59.0	17.2	1.7	6.6	74.5
	平成19年度(386)	22.3	45.3	26.2	1.3	4.9	67.6
	平成21年度(387)	18.6	47.5	19.1	—	14.7	66.1
	平成24年度(324)	17.9	41.4	26.9	1.9	12.0	59.3
専門分野だけでなく、社会全般の情勢や問題に対する興味・関心を持っている卒業生が多い	平成16年度(360)	6.7	40.6	35.8	2.5	14.4	47.2
	平成19年度(386)	8.0	56.0	28.0	2.8	5.2	64.0
	平成21年度(387)	7.0	41.9	30.7	3.9	16.5	48.8
	平成24年度(325)	7.1	40.6	35.1	3.7	13.5	47.7
職場でリーダーシップを発揮したり、部下指導などに優れた卒業者が多い	平成16年度(363)	16.5	43.0	31.7	2.2	6.6	59.5
	平成19年度(386)	17.1	53.4	22.3	1.6	5.7	70.5
	平成21年度(387)	13.2	56.3	20.9	1.8	7.8	69.5
	平成24年度(322)	10.6	49.7	24.8	1.9	13.0	60.2

(参考:他大学比較)本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想

下図表のとおり、全体、項目別に見ても本学の企業からの印象度は比較対象大学に対して相対的に高いといえよう。特に項目9～11.の「社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる」「仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む」「仕事上の課題等に積極的に取り組む意識や行動力を持っている」についての評価が高い。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
※設問は本学アンケート本文【 】内は他大学文面	科学技術に強い関心を持った卒業生が多い	卒業生それぞれが多様な能力を持っていると感じる	幅広い教養を身につけている卒業生が多い	基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけており、それを適切に多い(専門知識を身につけている卒業生が多い)	基礎科学及び工学に関する専門知識を身につけており、それを適切に多い(専門知識を身につけている卒業生が多い)	国際感覚を身につけている卒業生が多い	国際的なコミュニケーション能力(語学力等)を持っている卒業生が多い	論理的な思考の展開ができ、それを他者への確に伝えることができる卒業生が多い	社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる卒業生が多い	仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持っている卒業生が多い	仕事上の課題等に積極的に取り組む意識や行動力を持っている卒業生が多い	問題解決にあたり、調査、分析、報告の能力が高い卒業生が多い	問題解決に体して、多分野の知識やアイデアを総合して対処する柔軟性や独創性を持った卒業生が多い	IT(情報技術)の知識やスキルを身につけている卒業生が多い	専門分野だけでなく、社会全般の情勢や問題に対する興味・関心を持っている卒業生が多い	職場でリーダーシップを発揮したり、部下指導などに優れている卒業生が多い
本学	76.4	81.2	58.7	84.3	61.4	8.0	7.6	72.2	86.2	90.7	81.8	73.2	53.2	59.3	47.7	60.2
A大学(総合)		70.6	53.6	76.5	52.3	9.2	13.7		73.2	77.8	71.2	56.2	51.0	47.1	40.5	39.9
B大学(文系)	60.5	56.6	59.1	81.8	60.1	16.8	13.3		75.5	78.0	71.7	54.5	51.4	58.4	46.5	33.6
C大学(総合)		67.0	55.7	67.0	38.6	13.6	14.8		72.7	65.9	64.8	47.7	50.0	34.1	46.6	56.8

Ⅱ－2. 本学の学生への教育活動についての感想

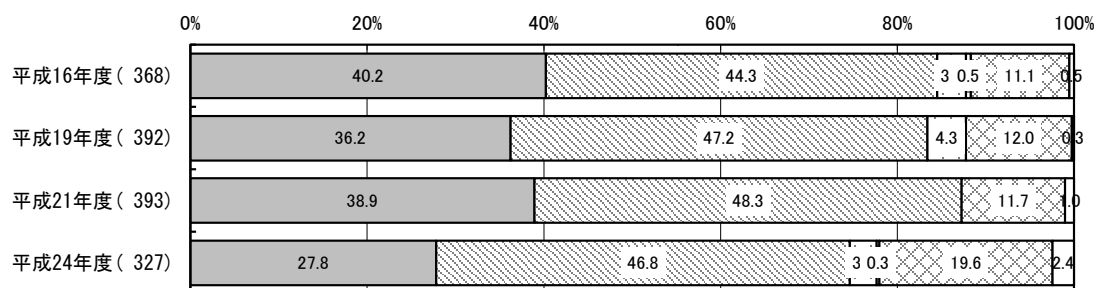
「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の肯定的意見は74.6%。
 <これまでの調査との比較>でみると、「どちらかといえば熱心だと感じる」割合は過去調査とほぼ同程度となっているが、積極的な肯定意見である「全体として熱心だと感じる」割合が、平成21年度(38.9%)と比べて11.1%減少しており、「なんともいえない、わからない」という回答割合が増加している。

Ⅱ－2. 卒業者からの印象やあなたがご存知の範囲で、
 本学の学生への教育活動について

	全体として熱心だと感じる	どちらかといえば熱心だと感じる	あまり熱心とは感じない	熱心であると感じない	何ともいえない、わからない	無回答	肯定的意見
①学科卒業者 全体[327]	27.8	46.8	3.1	0.3	19.6	2.4	74.6
建設システム工学科[44]	27.3	50.0	—	—	22.7	—	77.3
機械システム工学科[56]	26.8	50.0	5.4	—	16.1	1.8	76.8
情報工学科[43]	25.6	39.5	4.7	2.3	23.3	4.7	65.1
電気電子工学科[62]	29.0	45.2	3.2	—	19.4	3.2	74.2
材料物性工学科[43]	30.2	46.5	4.7	—	14.0	4.7	76.7
応用化学科[43]	25.6	48.8	2.3	—	20.9	2.3	74.4
改組前の旧学科[36]	30.6	47.2	—	—	22.2	—	77.8

<これまでの調査との比較>

Ⅱ－2. 卒業者からの印象やあなたがご存知の範囲で、本学の学生への教育活動について<0412>



- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 全体として熱心だと感じる | <input type="checkbox"/> どちらかといえば熱心だと感じる |
| <input type="checkbox"/> あまり熱心とは感じない | <input type="checkbox"/> 熱心であると感じない |
| <input type="checkbox"/> 何ともいえない、わからない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

Ⅱ-3. 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点(自由回答)

本学の教育面での感想や要望が数多く寄せられた。便宜的にいくつかの観点から大まかに整理して原文のまま掲載した。

Ⅱ-3 今後、本学に求められる教育面で強化すべきテーマや努力すべき点

◆コミュニケーション能力・積極性・柔軟性

・貴学に限りませんが、社会に出た後、様々な環境や人間と関わってまいります。そのような環境の中で順応出来る力、コミュニケーション能力を強化して頂きたいと思います。

・能力・知識は十分に高いレベルにあると認識していますが、もう少し積極性がある事が望ましいと考えます。各人が自分自身に自信を持ち、他学の学生も参加するセミナー・研修でも、積極的に自分の考えをはっきりと発言出来る人材が増えて欲しい。学生によりばらつきが大きいように感じています。

・目的意識を持って、知識と実践能力を高める事が社会では期待される事ですので、そういった人材教育を期待しております。

・組織と、その中での人間関係の築き方。個性が強く、組織で人間関係に苦労しているように見受けられる。

・課題に対する積極的な取り組み方。

・個々のコミュニケーション能力を高める活動。

・組織を引っ張るリーダーシップ

・柔軟性、社会性。

・個人的なスキルの問題になりますが、もう少し積極性があればと感じます。一般的な学生の特徴ではありますが、少し大人しく、受け身の学生が弊社では多いような感じがしております。

・技術者としての専門知識は勿論ですが、社会人としてのマインド、コミュニケーション能力についても身に付けて頂けると幸いです。

・新しい事に積極的にチャレンジする姿勢。

・世の中の動向を把握し、リードしていこうという心意気。

・コミュニケーション力(対話・報告・説明)を伸ばして頂きたい。

・今後も技術職に求められる幅広い基礎知識を身に付け、コミュニケーション力の高い人材を輩出して頂きたいと考えています。

・社会性と人間力(特にマネジメント力とリーダーシップ)の強化。

・専門分野の教育充実、深化は勿論の事、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、また、幅広い視野の醸成といった面の更なる強化を希望します。

・コミュニケーション力を伸ばす事は、これまで同様に強化して頂きたい。

・学力的には何の問題もないが、全般的に大人し目な人が多いように感じる。積極性が欲しい。

・課題に取り組む意識を、少しでも高くすると良いと思う。

・個人差があるとは思いますが、全体的にコミュニケーション能力が低いと感じております。特に自己表現的な能力、感情表現等が著しく乏しい人材においては、早い時期に退職してしまう事が多く見受けられます。社会人として、また、人生観といった教育も強化しなければいけない時代になったと感じます(本来、大学では必要ない事ですが)。

・コミュニケーション力(人の話を聞く、積極的に発言する)。

II-3 今後、本学に求められる教育面で強化すべきテーマや努力すべき点

◆語学力・国際感覚

- ・国際感覚、国際的なコミュニケーション能力が伸びればより良いと感じています。
- ・グローバル的感觉。
- ・国際感覚と語学力（TOEICや英検）の習得。
- ・英語力。
- ・基礎科学・工学力の向上、英語力の向上。
- ・英語力。弊社は、航空機的设计・開発を主に行っている為、海外との仕事が多い。
- ・国際的コミュニケーション能力の強化を望みます。
- ・語学（中国語、英語）。
- ・IT技術ばかりでなく、幅広い教養や英語コミュニケーション能力の向上を図って頂きたい。
- ・他大学と比較すると、語学力・文章読解力が弱いです。
- ・語学力を身に付けていくと良いと思う。
- ・今後は、海外も視野に入れた教育の強化が更に重要になってくると思われます。

◆基礎学力・基礎技術力

- ・社内で通用する人材の育成。
- ・各方面で、即戦力となりうる基礎力学（基礎技術）の習得。
- ・基礎科学・工学力の向上、英語力の向上。
- ・弊社は卒業生受け入れが少数なので、全般的な事として、基礎学力、人間としての一般常識（マナー）。
- ・専門分野のみならず、基礎学力の向上。
- ・基礎学力は低いと感ずる（技術的常識が身に付いていない）。
- ・対人会話が下手（日本語になっていない）。
- ・課題に取り組む意識を、少しでも高くすると良いと思う。
- ・語学力を身に付けていくと良いと思う。
- ・パソコン（Windows, office等）の基本的な取り扱いは、学科によらず習得しておいた方が良く思う。

◆専門知識・専門能力

- ・企業の業務に役立つレベルのプログラミング習得をお願いしたい。
- ・専門分野の資格取得を促すような指導をして頂きたい。
グループワーク等の協同作業の場を増やしてもらいたい。
- ・資格取得も含め、技術的にはレベルが高いと感じるが、応用力に多少不安を持っている。
- ・農業機械
- ・強化すべき事として、専門工学に関する基礎的な事項（原理・原則等）の十分な理解と修得が挙げられると思います。
- ・建設コンサルタント業としての立場からは、土木設計等の実務的な技術の基礎を教育して頂けると有難いとは思っています。

II-3 今後、本学に求められる教育面で強化すべきテーマや努力すべき点

◆マネジメント能力

・専門分野の技術的知識だけでなく、幅広い知識とマネジメント能力を身に付けるような教育が望ましい。

・プロジェクト習得のような、グループでコミュニケーションをとりながら、あるテーマに向かって課題を解決する機会を増やして欲しい（特に情報系）。

・報告書や論文の書き方、表や図の決まり事や言葉の使い方等についての教育があっても良いと思う。

・基礎、専門技術は勿論ですが、コミュニケーション、プレゼン能力も重要です。企画から客先フォローまで一貫した仕事の流れを知り、自主的に行動出来るような事が体験出来るテーマを学習出来ると思います。

◆総合・その他

・基礎学力と専門知識は高いレベルにあると思います。社会人としてのビジネスマナーは、最低身に付けて頂きたい点と、これからの社会人にとっては、積極的なチャレンジが求められます。最後までやり抜く責任感と、新しい斬新な発想を発揮出来る人材を求めています。

・企画力・発想力の経験。・全般的基礎知識。・語学力。

新卒者に求めるもの。

・モラル。・コミュニケーション能力（日本語）・基本的な専門知識。
・一般的な意見であって、貴大学卒業者に不足していたという事ではない。

・専門的な知識を深める事は勿論重要であるが、狭い範囲ではなく、広い視野を持って頂きたいと思います。柔軟性・創造性・積極性に物足りなさを感じます。

・技術的な専門知識のみならず、語学教育や人格形成等、広く人材育成に期待します。

主体性の発揮出来るような教育と基礎知識の充実。当社としては、専門的な知識より、オールマイティ的な人材の方が有利と考えている。

今時の学生ではなく、「室工大」として強い意志を持った学生を育てて下さい。

業務上の知識は、卒業後それぞれの若者から自主的に吸収する努力は見受けられるが、語学・経営等、将来の知識として必要となるコミュニケーション力等の一般的知識が、基本的に不足していると考えます。

・専門分野での問題解決、それらを基礎とした技術展開はある程度対応できていますが、他分野への応用については、能力が不足していると感じる。例えば講義の中で、鉄鋼技術⇄環境技術⇄人間工学技術などへの展・応用、更には社会が要求している課題への解決アプローチ手法の取得を期待したい。専門分野以外の業界で使用されている機器の損傷、材料の劣化、それらの検査などについて、広い知識と柔軟な発想で問題解決の糸口を見つける訓練が必要と考えます。

・企業戦略の中で、海外業務への依存度は高まる状況にあります。国際的なコミュニケーション能力は必須になりつつあり、単純に語学が出来るだけではなく国際的な交流が可能となる能力(センス)が必要となります。学生時代から留学生などとの交流を深めて、スキルアップを図って頂きたいと考えます。

リベラルアーツの充実と高い専門性の両立。
高い大学院進学率。

II-3 今後、本学に求められる教育面で強化すべきテーマや努力すべき点

◆印象・感想など

素直で真面目な人材を輩出されていると存じますので、特に強化いただきたいテーマ等はございません。

学力は申し分ないと思います。レベルも個人にもよるが、他より高水準で安定しているイメージです。

優秀な学生が多く、多方面で活躍しています。今年度は採用はありませんでしたが、来年度以降、宜しくお願い致します。

今年4月に入社後、3ヶ月の試雇期間を過ぎ、7月に本採用になったばかりで能力は未知数です。礼儀正しさと真面目さが確認出来ますので、今後には期待致しております。

II-4. 本学全般についてのご意見、ご要望(自由回答)

本学全般についての意見や要望が数多く寄せられた。便宜的にいくつかの観点から大まかに整理して原文のまま掲載した。

本欄への記載については、意見・要望よりも卒業生の活躍や今後の人材輩出に対する期待などが多くを占めており、本学と回答企業との深い関係性や信頼感が感じられた。

一方、本学のみに対してではないが、企業が求めているコミュニケーション能力向上やストレス耐性強化への希望記述が複数あった。

II-4. その他 本学全般について、ご意見、ご要望などがあれば自由にお書きください

◆基礎能力の向上

・他の大学にもお願いしたいのですが、書く・話す・読む等の基礎能力を徹底して身に付けて入社して欲しい。

①強いリーダーシップを持っている卒業生も居ますが、言われて事を真面目に行えば良いという人が多く、若干、物足りなさを感じます。

②国語力が無いから工大に入学したという甘えが、卒業後も見られる方が居ます。気持ちの問題だと思いますが、自らが上限を決めているようで残念です。

・推薦入試は慎重に。十分な学力のない学生が入学する可能性大。

◆コミュニケーション・メンタル耐性の強化

・どの大学にも言える事ですが、メンタル面でも打たれ強い人間に。急にパワーが落ちる傾向にあります。

・ゆとり世代の弊害か、コミュニケーション能力が弱く、面接でしっかりと自己表現出来ない学生が多く見受けられます。

・明るく誠実に勉学する姿勢は素晴らしいと思いますが、コミュニケーション力やリーダーシップ力を身に付けて頂きたいと思います。

・年々、コミュニケーション能力が低くなっているように感じます。社会との接点が少なく、内向きな人間関係で完結しているようだ。

・学力のみではなく、人間性もより高めて頂きたいと思います。

・特に最近、若者に共通して言える事ですが、学生から社会人になる気構え、分別、精神的忍耐力が備わるような教育を合わせてお願いしたい。

・高卒生と比較すると、基礎的な学力はかなり長けていると思います。与えた課題に対する回答もしっかり出来ますが、逆に自分本人からの独創性や問題提議等の積極性は弱いと感じます。「右にならえ」や「長いものに巻かれる」といった性格の者が多く感じますので、是非、「積極的な人材」づくりにも力を入れて頂きたいです。

◆グローバル化への対応(秋入学含む)

・留学生の受け入れ派遣、グローバル化への対応としての入学・卒業時期について、何らかの検討を進めているのであれば、意見を公開して欲しい。

II-4. その他 本学全般について、ご意見、ご要望などがあれば自由にお書きください

◆就職指導や企業連携への希望

・今年度は、札幌にて就職セミナーを開催させて頂いていましたが、貴校学生については参加申し込みは多いが、無断欠席する学生ばかりでした。非常に残念ですが、他学・他地域と比較しても無断での欠席は比較的少ない中、貴校の学生については、無断での欠席が多い結果でした。来年度以降、欠席の際には連絡またはキャンセルする等の指導をお願いします。

・室蘭工業大学および弊社(JSW、NIS)は地場の大学、企業であり、共同研究、見学会、テーマ発表会を含めて活発な交流を行ない、企業側の求める技術者の姿、考え方、スキルアップ内容などを伝えていきたい。また大学側からも新たな技術紹介、トピックスなどを伝えて頂き、これらを通して相互の人材育成を進めることができれば、学生のレベルは向上していくと考えております。

・弊社への学生紹介については、各学部で実施されておりますが、貴大の発信部門を統一して頂いたほうが、弊社でも対応が円滑に行えます。貴大にはキャリアサポート・センターが設置されていたと思いますので、ご検討を頂きたい。

・推薦による受験生を増加させて頂きたい。自由応募だと、内定を出しても他社に行かれるケースが出てくる(H24年度は、当社実績で2名)。

・いろいろな企業が集まった合同企業説明会等があれば業界研究にもつながり、就職活動に役立つのではと思います。

◆資格取得の奨励

・運転免許等も含めて、在学中に取得出来る資格は、出来るだけ取った方が良いかと思えます。

◆感想・期待

・進路指導を、しっかりなさっていると思います。

・本年、久しぶりに1名採用させて頂くに至りました。今後も積極的に採用出来ればと考えています。合同セミナーへの参加の機会を頂ければ幸いです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

・前項に記載の通り、多くの卒業生の方々が弊社で活躍しております。今後とも宜しくお願い致します。

・弊社では、学部・学科不問で人材の募集を行っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。また、土木・建築系の専門知識を活かせる重量品輸送の分野もありますので、学生へ告知して頂けると幸いです。

・弊社の悩みになりますが、入社後10年前後で地方自治体の中途採用試験を受けて合格する室蘭工大卒業生が多く、痛い損失となっております(裏返せば優秀と言えます)。

・大変優秀で、意欲のある方に入社して頂き、大変喜ばしく存しております。弊社には体力的には厳しいところがありますが、女性ならではの感性等を充分発揮出来る仕事内容となっておりますので、是非とも彼女の後に続く人材(男女問わず)の御紹介をお願い致します。

・新卒の採用を検討しております。インターンを含め、御紹介頂きたいと考えております。

・大変お世話になっております。毎年、貴学から優秀な学生を推薦して頂き、誠に有難う御座います。今後とも宜しくお願い致します。

・退職してしまったので残念です。

・弊社採用活動に関しまして、御協力頂き有難う御座います。引き続き御協力の程宜しくお願い申し上げます。

Ⅱ－４．その他 本学全般について、ご意見、ご要望などがあれば自由にお書きください

・優秀な方に入社頂き感謝しております。機械装置の電気設計業務を担当して頂いています。幅広い技術が求められる職場ですが、これからの活躍を期待しております。

・土木の学生を、毎年一人でも採用していきたく思っています。

・学内での会社説明会を実施させて欲しいです。

・航空学科もあり、弊社業務と関連深く思っています。引き続き求人を考えておりますので、宜しくお願い致します。

・積極的に採用活動を行いたいが、全国、道内、市内の大手に希望集中し、なかなか中小の弊社グループ会社を希望してくれません。入社してきてくれる方はグループ会社も含め、辞めずに生き生きと仕事をしてくれています。そんな彼らの為にも毎年後輩を作ってあげたいと、グループとしても考えています。

・キャンパス内で出会う学生の皆様が、非常に気持ちの良い挨拶をする様子から、マナーや礼儀をしっかりと教育されていると感じました。専門性の高さは勿論ですが、こういった基礎・基本がしっかりしているところに、貴校の学生の皆様に魅力を感じます。

・これからも個性を大切にしつつ、人間性として魅力のある学生が輩出される事を期待しております。

・12年度新卒採用におきましては、2名が入社いただきました。今後も多くの学生に興味を持っていただきたく、北海道地区での説明を開く際には是非ご協力をお願い致します。

◆本アンケートに関するコメント

・採用を担当しましてから17名の御学生様に受験して頂き、4名の方に内定を出し、2名の方に入社して頂きました。アンケートには17名の学生様の印象を書かせて頂きました。今後も一人でも多くの御学生様に来て頂き、弊社の将来を担って頂きたいと思っております。今後よろしくお願い申し上げます。

・H22年1名、H24年2名を採用。人には個性があるので、まとめて評価するのは難しい。

・入社後は各部に分かれ、個々の状況把握しかねますので、採用選考で重視した点を該当項目として回答させて頂きました。社会人として最低限必要とされる立ち居振る舞い、コミュニケーション、リーダーシップのとれる人材を求めています。貴校におかれましては、弊社の事業内容を熟知して下さい先生方がいらっしゃいますので、マッチした素晴らしい人材を輩出して下さり、有難く思っております。今後とも宜しくお願い致します。

・特段では御座いませんが、このような調べは重要だと思います。

・卒業生の個人情報に関する項目等が含まれており、個別の質問には回答出来かねます。大変恐れ入りますが、回答を辞退させて頂きます。御了承下さい。

室蘭工業大学
「平成24年度 企業アンケート」
集計結果報告書
平成24年12月
編著：一般社団法人日本能率協会
